技術：可搬型音創シミュレーター

（特許出願中）

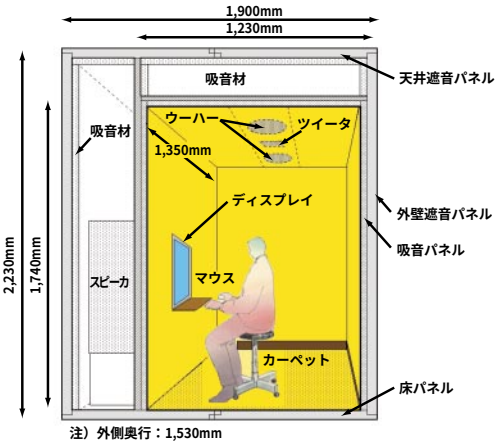
集合住宅の音環境をコンパクトな音体感ルームで実現

■概要

「住宅の品質確保の促進等に関する法律」が平成11年6月に公布され、平成12年の秋から施行予定です。これに伴い、住宅の遮音性能のランクを表示して販売するマンションの増加が予想されます。

そこで、住宅の性能表示制度に対応できるように開発したのが、『可搬型音創シミュレーター』です。本シミュレーターは、企画や設計段階から集合住宅の音環境を数値と再生音で予測・評価・確認できるシステムです。

騒音の発生状況



注）外側奥行：1,530mm

音体感ルームの内部構造

■特徴

●豊富なデータと高度な解析技術によって、集合住宅の音環境を瞬時にシミュレーションすることができます。

●集合住宅の音環境を、数値のみでなく実際の聴感によっても確認することができます。

●集合住宅の仕様グレードの設定作業を支援します。

●入居後の音環境を再現し、クレーム防止に役立ちます。

●可搬型のボックス式となっており、容易に移設することができます。

■対象とする音環境

●床衝撃音（上階で、人が飛跳ねる音やゴルフボールを落した時の音など）

●隣戸からの空気伝搬音（隣戸のピアノやテレビ、オーディオの音など）

●外部騒音（道路交通騒音や鉄道騒音など）

■音体感ルーム

音体感ルームは壁パネル、天井パネル、内装材パネル等に分割されており、モデルルームや展示場で容易にボックスに組み立てることができます。体感者がパソコン画面を見ながら体感したい部屋や音の種類をマウス操作で選択することで、スピーカから再生された音を体感することができます。完成後のマンション室内で発生する日常生活のさまざまな音を事前に体感する装置です。

メイン画面

■適用実績

●クイーンズパレス八丁堀（規模：RC12階建、竣工：平成12年2月）

●クイーンズパレス東戸塚（規模：RC7階建、竣工：平成11年11月）

●本技術は、信州大学工学部社会開発工学科山下恭弘教授、株式会社熊谷組、日東紡音響エンジニアリング株式会社の共同開発によるものです。

■関 連 資 料… 技術紹介パンフレット：音創シミュレーター
Kumagaigumi Now 051 音創シミュレーター

※このリーフレットは、再生紙を使用しています。